



大野市西勝原 13-1-5
Tel・FAX (0779) 65-6805
✉ goka-k@city.fukui-ono.lg.jp



明倫の心を重んじ 育てよう 大野人

五箇大学 長生会 花ももサロン共催

思い出を語る会

なつかしの写真でむかし語り

日時：12月5日（金）

- ・むかし語り 午前9時30分～11時
- ・ビンゴ大会 午前11時～11時30分
- ・昼食 午前11時30分～

場所：五箇公民館 多目的室

講師：松嶋秀明さん

定員：15名

※ビンゴ大会と昼食の申し込みは
終了しました。

※「むかし語り」のみ参加の場合
は、当日まで申込可能です。
参加費はありません。



大野市総合文化祭に講座で作った

あずま袋を出品しました

栃の実を水に浸ける際に使うサラシの袋（あずま袋）の作り方をアレンジして、素敵なバッグを作りました。着物の帯、浴衣、風呂敷などで作られた色とりどりのバッグは、多くの来場者の目を引きつけていました。



令和7年度 公民館ルー講座

九頭竜峡散策



11月8日、さわやかな秋晴れの下、北陸電力（株）の協力のもと、九頭竜峡散策が開催されました。

折しも全国的にクマの被害が深刻な状況だったため、行程の一部を変更して東勝原発電所と西勝原第一発電所を見学しました。

まずは東勝原発電所を見学し、普段は見ることのできない発電所の内部で、水力発電の仕組みを学びました。

日本の発電所の発展に貢献した福澤桃介氏にちなんで「桃介橋」を渡り、西勝原第一発電所を見学しました。敷地内には桃介氏の石碑もありました。

ここは打波川と九頭竜川の合流地点にあり、対岸には厳しい自然と歳月が作り上げた美しい絶壁がそそり立っています。巨大な送水管のわき道を登り、馬返トンネルに到着すると、遠くの山影に雪化粧をした「ひとめ白山」が見えました。

参加者は色づき始めた九頭竜峡の美しさと発電所見学というレアな体験を思いっきり楽しんでいました。



楽しい歌謡教室 11月14日開催

橋本信子さんを講師に迎え、「サザエさん」の軽快な歌に合わせて心と体をほぐしてから、なつかしい童謡や唱歌に合わせて楽しくできる脳トレ体操を学びました。久しぶりに歌ったという方も多く、皆さん笑顔で楽しんでいました。



12月 行事予定

日	曜日	行 事
1	月	フードドライブ ~5日まで 栃の実伝承教室④ AM 9:30
2	火	エクササイズ Day AM 10:00
3	水	
4	木	
5	金	五箇大学 長生会 花ももサロン共催 思い出を語る会 AM 9:30
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	エクササイズ Day AM 10:00
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	エクササイズ Day AM 10:00
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	エクササイズ Day AM 10:00
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	年末休館日
31	水	

栃の実伝承教室①② 11月21日開催

全4回シリーズで、下打波地区の伝統的な栃もちの作り方を山内たかさんと櫻井ちづ子さんから学んでいます。

大ベテランのおふたりは、硬い栃の実の皮をむく「ごねり」の作業も、すごい速さでこなしていきます。むけた栃の実の木槌で叩いて潰します。



潰した栃の実をサラシの袋（あずま袋）に詰め、水中でも砂が入らない結び方を習いました。下打波の川（舟）に次回の講座まで浸けておきます。

次は灰汁作りです。指先にちょっとつけてなめると舌がピリッと痛くなるくらいが「いい味」です。おいしい栃もち作りまであと少し。参加者は、伝統的な工程を楽しみながら学んでいます。※講座の申し込みは終了しています。



◇◇◇蔵生駐在所通信 米村 英浩 巡査長◇◇◇



◆年末の交通安全県民運動の実施◆

◇期間：12月11日（木）から20日（土）までの10日間
上記期間中、年末の交通安全県民運動が実施されます。
運転者・歩行者ともに交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

☆12月11日（木）は「横断歩道 de 歩行者を守る日」です。

＜運動の重点と取り組み＞

- 1 高齢者の交通事故防止（北陸三県統一重点）
- 2 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- 3 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
- 4 冬道での安全走行の徹底



◆除雪中の事故に注意しましょう！◆

気温も低くなり、雪のシーズンになってきました。県内では例年、この時期から除雪中の事故が発生しやすくなっています。

除雪中の事故を防ぐためとして

- 除雪作業で道路に出る時は左右をよく確認を。
- 屋根の雪下ろしは2人以上で行い、ヘルメット・命綱を。
- 屋根からの落雪に注意を。
- 除雪機を動かしている人には、不用意に近づかないように。
- 無理をせずに休憩をしながら、計画的に。
- 車を運転するドライバーの人も雪山からの人の飛び出しに注意を。



相談は、○警察安全相談ダイヤル# 9 1 1 0
○大野警察署 ☎ 6 5 - 0 1 1 0